

食品業界の一貫パレチゼーションの実現

実施主体

丸紅ロジスティクス株式会社 (共同代表)
 トランコム株式会社 (共同代表)

事業内容及び特徴

- ① 最適パレット規格の検証
- ② パレット管理システム
- ③ 共同輸配送(PL回収含む)

■パレット標準化による一貫パレチゼーションの実現

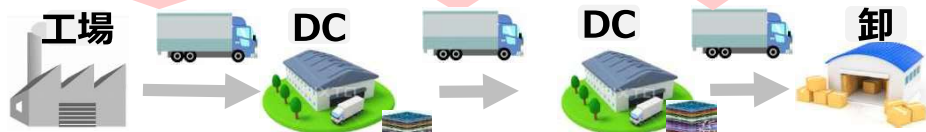
11・12型パレットを軸に、物流荷役の生産性を比較し最適を検証
 複数パレット(レンタル、自社)の受払い情報を一元管理
 DC-着荷主間のパレット納品、全パレットを一括回収

BEFORE

■発着荷主、物流事業者間での物流課題は山積

パレット輸送化による積載悪化・パレット不足
 (課題) ①着荷主指定のパレット、効率悪化
 ②パレット回収/破損・紛失リスク

バラ輸送(手積み)
 (課題) ③積降し時間
 ④待機時間

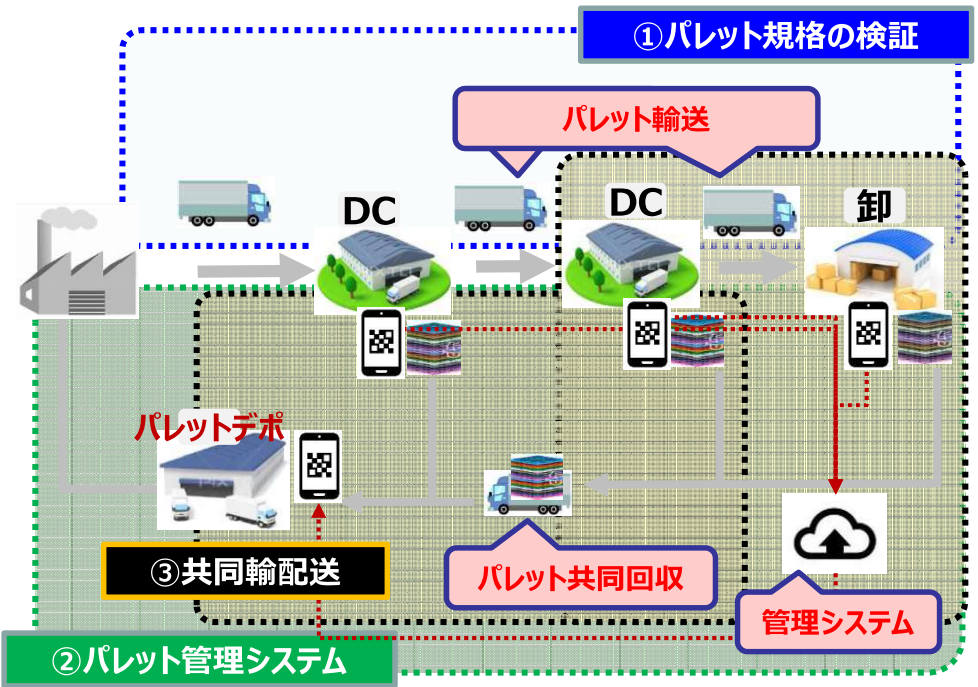


滞留パレットのスペースがムダ
 (課題) ⑤パレットの仕分け作業負荷
 ⑥回収の制約条件が多い



複数社のパレット管理が出来ない
 (課題) ⑦受け払い処理が大変
 (伝票処理、枚数管理)

AFTER



スケジュール

STEP 1	調査・設計	4~7月	対象範囲選定、システム開発
STEP 2	実証実験	8・9月	検証期間は内2週間程度
STEP 3	効果検証	10・11月	成果報告

効果

・発荷主	積載率の改善・車輛集車力の向上	} パレット循環の活性化 - 労働環境の改善 - 他業界への横展 - 国内から海外へ
・着荷主	庫内生産性の改善・管理工数の削減	
・物流事業者	ドライバーの拘束時間削減	